

コ ー ス	食品栄養学 (Nutritional Science)		
学年・期・単位	第2学年・前期・1単位	科目担当責任者	佐藤 貞雄 (成長発達歯科学講座 歯科矯正学分野・教授)
オフィスアワー	月曜日17:20~18:00(第1研究棟4階生化学第1研究室:小鹿真理)	メールアドレス	
一般目標 (GIO)	成長・発達、健康維持に必要な栄養素に関する知識を習得するために、栄養素の吸収機構、代謝過程、生体内での作用を理解する。そして、栄養素の過不足により引き起こされる疾患、代謝異常について理解する。		

講義ユニット	一般目標 (GIO)
1. 栄養学概論と栄養素	栄養学と他の学問の関連性を理解する。5大栄養素の機能を理解する。食品の一次機能、二次機能、三次機能について理解する。特に一次機能についてよく理解する。
2. 基礎代謝	基礎代謝とそれに影響する因子を理解する。
3. 栄養素の機能	5大栄養素それぞれについて、消化・吸収、生体での代謝、機能を理解する。
4. 食事摂取基準	食事摂取基準の概略、策定目的、指標と算定基準を理解する。
5. 栄養と病態・疾患	栄養素の欠乏症・過剰症を理解する。栄養素の代謝異常症とその発症機構、症状を理解する。
6. ふり返り学習	栄養学の重要事項を理解する。

教科書		
書名	著者名等	発行所
A 栄養テキスト	小鹿真理	学建書院

参考書		
書名	著者名等	発行所
新しい臨床栄養学	後藤昌義、瀧下修一	南江堂
臨床栄養医学	日本臨床栄養学会 監修	南山堂

評価法 (EV)
客観式本試験 (90%)、小テスト (10%) で総合評価。

授業計画						
回	日付	ユニット	行動目標 (SBOs)	学習方略 (LS)	授業担当者	コアカリ/国試出題基準
1	4/4	栄養学概論と栄養	1. 現在の栄養学の考え方について説明できる。 2. 栄養学と他の学問を関連づけることができる。 3. 栄養素の生体における役目の概略が説明できる。	A P1~3。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	C-1-①② 必13-A-a, j 必16-A-d, e 必16-I-a, c 総Ⅱ-(Ⅵ)-1-A-a 総Ⅱ-(Ⅵ)-3-A-e 総Ⅱ-(Ⅵ)-3-C-1-a-c 総Ⅱ-(Ⅵ)-3-C-3-a, b
2	4/11	基礎代謝	1. 基礎代謝量の定義と測定法について説明できる。 2. 基礎代謝に影響を与える因子を説明できる。 3. エネルギー出納について説明できる。 4. 推定エネルギー必要量が説明できる。 5. 食物の特異的動的作用について説明できる。	A P6~8, 11~13。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-②④ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-a
3	4/18	栄養素の機能	1. 糖質を分類することができる。 2. 糖質の消化・吸収が説明できる。 3. 解糖系、TCA 回路・五炭糖リン酸回路の役割が説明できる。 4. 糖代謝異常症を列挙できる。	A P19~29。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-②④ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-b 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-c
4	4/25		1. タンパク質を機能から分類できる。 2. タンパク質の消化、吸収について説明できる。 3. 窒素平衡について説明できる。 4. タンパク質の栄養価について説明できる。 5. アミノ酸代謝異常症を列挙できる。	A P33~43。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-① 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-a 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-b
5	5/2		1. 脂質の主な生理機能を述べることができる。 2. 脂質を分類できる。 3. 脂肪酸の構造と分類が説明できる。 4. 脂質の消化吸収について説明できる。	A P45~51。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-③ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-c 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-d
6	5/9		1. 脂肪酸分解とケトン体生成過程を理解する。 2. 細胞膜成分としてのリン酸脂質が説明できる。 3. リポタンパク質を分類しそれぞれを説明できる。	A P51~56。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-③ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-c 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-d
7	5/16		1. 無機質の機能の概略が説明できる。 2. カルシウムの吸収と血中カルシウム調節機構が説明できる。 3. カルシウムの生体内での作用が説明できる。	A P61~68。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	F-2-4)-(7)-①⑧ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-e 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-c, e 各Ⅳ-(Ⅴ)-1-E-1-a, b
8	5/23		1. 鉄の吸収、体内分布、働きについて説明できる。 2. 主な主要元素、微量元素の生体内での作用が説明できる。	A P68~85。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	F-2-4)-(7)-①⑧ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-e 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-c, e 各Ⅳ-(Ⅴ)-1-E-1-a, b
9	5/30		1. ビタミンの分類ができる。 2. ビタミンの過剰症、欠乏症が説明できる。 3. ビタミン A、D の生体内での作用が説明できる。 4. ビタミン K と止血機構について説明できる。	A P87~99。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-⑤ D-2-3)-(11)-④ F-2-4)-(7)-⑧ 必8-C-b 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-f 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-d 各Ⅳ-(Ⅴ)-1-D-a-d
10	6/6		1. 補酵素としての水溶性ビタミンが説明できる。 2. ビタミン C の作用について説明できる。 3. 貧血とビタミン B12、葉酸について説明できる。	A P99~114。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-⑤ D-2-3)-(11)-③ F-2-4)-(7)-⑧ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-F-f 総Ⅰ-(Ⅳ)-1-O-d
11	6/13		1. 食品の二次機能、三次機能について説明できる。 2. 食物繊維の定義、種類、効用を説明できる。 3. 人工甘味料の種類と構造、特徴について説明できる。	A P29~32。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	C-1-③ D-2-3)-(4)-④ 総Ⅱ-(Ⅰ)-4-D-a 総Ⅱ-(Ⅲ)-1-G-d, e 各Ⅴ-(Ⅰ)-5-B
12	6/20	食事摂取基準	1. 栄養素の食事摂取基準の策定目的を説明できる。 2. 設定指標が説明できる。 3. 栄養素それぞれの算定基準を述べることができる。	A P5~9。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	D-1-1)-①~④ 総Ⅰ-(Ⅰ)-1-H-a 総Ⅱ-(Ⅵ)-6-A-2-a, b
13	6/27	栄養と病態・疾患	1. 栄養アセスメントが説明できる。 2. 肥満の判定基準が説明できる。 3. 肥満を内蔵脂肪、原因から分類できる。 4. 栄養障害について説明できる。	A P115~119, 130~131, 136。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	F-1-6)-(2)-④⑤ 総Ⅱ-(Ⅱ)-4-H, I 総Ⅱ-(Ⅲ)-3-D, E 総Ⅱ-(Ⅵ)-6-A-4-a-d
14	7/4		1. 糖尿病の病態、診断基準について説明できる。 2. 高血圧症の診断基準について説明できる。 3. 脂質異常症について説明できる。 4. メタボリックシンドロームについて説明できる。	A P119, 130~133, 134。 主要な箇所はプリント (配布資料)、板書で説明する。	小鹿眞理 (特任教授)	
15	7/11	学習振り返り	1-14回の重要事項を述べ、関連づけて説明できる。		小鹿眞理 (特任教授)	